

07/28 - 07/29

EXPO メッセ「WASSE」
地域の魅力発見ツアー 夏



ワクワク体験の中から
誕生する「ネジやん」
一生記憶に残る万博を



高精度なパイプ曲げ加工などに強み、新製品開発のアシストも

1933年にパイプ曲げ加工業で創業した株式会社小泉製作所。現在は、高精度なパイプ曲げ加工や溶接加工、高耐食性メッキ加工を強みとして、オートバイやマリン用部品をはじめ、医療・介護用品、住宅関連部品などを手がけています。「ものづくり企業として頼りにされることを大切にしている」と小泉達哉社長が語るように、最近では、自社の高い技術開発力を活かした顧客の新製品開発のアシストにも注力しています。また、昨今注目されている「産業観光」についても、社会貢献の一環として電鉄会社や旅行代理店の企画に協力し、海外からの見学者や留学生を受け入れたり講演を行ったりする機会が増えています。



3次元形状のパイプ曲げ加工も得意とする

「記念チケット」が入るケースを作るワークショップを開催

大阪・関西万博(以下、「万博」という)では、EXPOメッセ「WASSE」で開催される「大阪ウィーク〜夏〜」において、「地域魅力発見ツアー 夏〜大阪43市町村の見どころ〜」の「やりなはれゾーン」で、堺市内のものづくり企業4社(小泉製作所、河辺商会、シャープ化学工業、常磐精工)合同で廃材を活用したアート作品のワークショップを開催します。具体的には、来場者のこどもたちを対象に、QRコードが印字された「スクエア記念チケット」を収めるホルダーづくりを体験してもらうもので、小泉製作所では、アルミフレームに取り付ける同社オリジナルキャラクター「ネジやん」を提供します。



「FactorISM」のようす

「FactorISM」では、3歳から「ネジやん」づくりで溶接を体験

堺の「FactorISM」(※)を1年目から牽引してきた小泉社長は「それぞれに閉鎖的だった町工場がたくさんつながりあって、これからのものづくりを一緒に考えることがすばらしい。さらに、それを長くやり続けていることに意義がある」と語っています。同社のワークショップでは、いろんなネジを溶接でつないで作る「ネジやん」というキャラクターづくりを3歳のこどもから体験することができ、大変な人気を集めています。「動画配信で見たことはすぐに忘れても、溶接を体験したことは一生記憶されるはず。参加者の笑顔と感謝の言葉のシャワーを浴びて、従業員たちの間にも良い風が流れるようになりました」。



ハワイで配付した地元仕様の「ネジやん」も人気者に

※FactorISM(ファクトリズム)とは、堺市や八尾市など大阪府内の町工場でものづくりの現場を体験・体感してもらうイベント。一般の方向けに工場見学やワークショップを開催し、職人が何を考え、何を感じてものづくりに励むのかを知り、そこに憧れをもつ。合言葉「こうばはまちのエンターテインメント」にはそんな思いが込められている。

企業概要

所在地 〒590-0905
堺市堺区鉄砲町18
TEL 072-229-2332
設立年 1948年(1933年創業)
資本金 1,200万円
従業員 20名

公式サイト

さかしる



こどもたちの人生の節目として記憶に残るワークショップに



代表取締役

小泉 達哉 さん

EXPO'70を知らない世代の私でも、万博というだけでワクワクします。万博開催を盛り上げようと各地で立ち上がった「EXPO酒場」にも協力し、工場を提供したこともあり。そして、毎年FactorISMを開催するなかで、いつかは挑戦したいと思っていた企業間コラボがこの万博で初めて実現します。かつてのEXPO'70のように、今回参加してくれたこどもたちには「あの時の万博のワークショップ」が人生の節目として記憶されるイベントになるだろうと信じています。2日間のワークショップ期間中は全社員を万博に招き、国際的な大イベントを肌身で楽しんでほしいと思っています。

事業内容

パイプ曲げ加工、アルミ溶接、プレス加工、機械加工、バブ研磨、電解研磨、メッキ、組立(鉄・SUS等)

主な取引先(納入先)

オートバイ・自動車メーカー、農業機械メーカー、ドローンメーカー、家具メーカー、デザイナーなど

主な製品・サービス等

輸送用機器・モータースポーツロボット・ドローン・船舶・医療関連の部品、家具、新規開発のアシスト